

令和7年度

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 "順天堂大学練馬病院 保育所ぴのぴの"

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

病院の事業所内施設ということもあり、救急車のサイレンが良く聞こえてきます。

こどもたちも耳を澄まして反応を楽しんでおり、色々な車の音や楽器から出る「音」を更に深掘りして探究心を育てていけたら、と考えテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

活動① たまご型マラカスを振って「音」を楽しむ

活動② ミュージックパッドを押したり踏んだりして楽しむ

活動③ 効果音キーボードから出る車のサイレンや動物の鳴き声を楽しむ

活動④ 活動の様子を撮影したスライドショーを保護者と共有する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・たまご型マラカス (リトミックの時間だけでなくこどもたち自らが選んで遊べるよう、保育室に常設)
- ・ミュージックパッド (床に並べて踏んで遊べるように設定)
- ・効果音キーボード (設定によって、鍵盤を叩くと様々な楽器の音が出たり、車や動物などの音や鳴き声や自然の音が出る)
- ・ロールスクリーン・プロジェクター・アンプ (投影した映像を流し、大きな画面やスピーカーから出る音の違いを楽しむ)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ リトミック講師の弾くピアノの音に合わせてマラカスを振ったり、歌に合わせてマラカスを身体の部位にくっつけたりして楽しんでいた。
- ・ ミュージックパッドや効果音キーボードを実際にこどもたちが触り、様々な音が出るのを楽しんでいた。職員が効果音キーボードを操作し、音のクイズを出すこともあった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 「ピーポー、ピーポー!」「救急車だよ」「カンカンは踏切!」など、車や乗り物から出る「音」の違いを楽しみ、更に色々な音が聞きたい、と興味を深めていた。
- ・ ミュージックパッドを踏んで音が出ると嬉しそうに保育者に伝え、「写真撮ってママに見せて」とリクエストをしていた。
- ・



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ミュージックパッドは柔らかい素材で手で押しても、足で踏んでも音が出るので0歳児でも喜んで参加していた。
- ・床に並べたミュージックパッドを順番に踏んでいくことで、音階が変わるのを楽しんでおり何度も繰り返していた。「ド、レ、ミ」と口ずさんでいる子もいたので音の興味を深めるきっかけになったと感じる。
- ・たまご型マラカスは乳児・未満児でも握りやすい大きさと、振って音がするだけでなく転がしたり集めたりしながら遊びを展開させていた。
- ・壁やロールスクリーンに写された映像とアンプから流れる音で、映画館のような音の広がりを視覚と聴覚を使って感じられた。
- ・「音」というテーマではあったが、耳だけに限られたものではなく、こどもたちは全身を使って運動をしながら「音」を感じていた。感じ方も個性があり、個々の楽しみ方、表現の仕方を大切にしていきたいと改めて感じた。
- ・活動の様子をまとめて作成したスライドショーを、年度末の卒園式で保護者やこどもたちと上映するのを楽しみ、振り返ることが出来た。